

作成日：2011年 6月 14日

改訂日： 年 月 日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : バリアス 油膜取りクリーナー
会社名 : 大一産業株式会社
住所 : 兵庫県神戸市中央区元町通5丁目1-20
担当部署 : 環境衛生事業部
電話番号 : 078-361-7070 FAX番号 : 078-361-1213
緊急連絡先 : 03-3624-0681 (東京支店 環境衛生事業部)

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分及び含有量

成分名
エタノール
カラシ抽出物
ポリフェノール
水

危険有害成分 : 無し

危険有害不純物 : 無し

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

有害性 : 調査した範囲では有害性を示す情報は無い。
環境影響 : 調査した範囲では環境への悪影響を示す情報は無い。
物理的及び化学的危険性 : 鉄に対しやや腐食性がある。
引火しやすい液体含有。(第4級アルコール類)
分類の名称(分類基準は日本方式) : 分類基準に該当しない。

4. 応急処置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合 : 水でよく洗い流す。石けんを使って洗い流すと良い。

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で充分洗眼した後、医師の手当を受ける。
 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、水を飲ませて医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、粉末、泡（耐アルコール泡）、炭酸ガス
 消火方法 : 初期の火災には、大量の水噴霧、又は粉末、炭酸ガス等の消火器による消火を行う。
 大規模火災には、泡消火器を用いて空気を遮断する
 消火を行う者の保護 : 消火作業では適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業の際には必要に応じて保護具（保護手袋、保護眼鏡等）を着用する。
 環境に対する注意事項 : 公共用水域に直接流さないように留意する。
 除去方法 : 少量の場合には、こぼれた場所を速やかに大量の水で洗い流す。
 大量の場合には、漏出液を密閉式の空容器に出来るだけ回収し、回収出来なかった場所を大量の水で洗い流す。
 二次災害の防止策 : 揮発性があるので、付近の着火源となるものは取り除く。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い
 安全取扱い注意事項 : 作業場の換気を十分行い、保護眼鏡、保護手袋等保護具を着用する。
 保管
 適切な保管条件 : 直射日光を避け、冷暗所に密栓して保管する。
 通風をよくし蒸気が滞留しないようにする。
 鉄に対しやや腐食性があるため注意する。

8. 暴露防止及び保護装置

- 設備対策 : 装置の気密が重要。取扱いについては、火気のない換気のよい場所で行う。

許容濃度

- 管理濃度 : 設定されていない
 日本産業衛生学会（2001年度版） : 設定されていない
 ACGIH（1996年度版） : エタノール 1,000ppm (1,880mg/cm³)

保護具

- 呼吸器用の保護具 : 状況に応じて着用
 手の保護具 : ゴム手袋

目の保護具 : 保護眼鏡、ゴーグル
 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業着、白衣、前掛け 等
 適切な衛生対策 : 情報無し

9. 物理的性質及び化学的性質

物理的状態

形状 : 透明液体
 色 : 無色
 臭い : 特有の芳香
 pH : データ無し

物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲

沸点 : データ無し 融点 : データ無し 分解温度 : データ無し
 引火点 : データ無し
 発火点 : データ無し

爆発特性

爆発限界 下限 : データ無し 上限 : データ無し
 蒸気圧 : データ無し
 蒸気密度 : データ無し
 密度 : データ無し

溶解性

溶媒に対する溶解性 : 水に易溶
 オクタノール／水分係数 : データ無し

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の使用では安定
 反応性 : 通常の使用では安定
 危険有害な分解生成物 : 危険有害な分解生成物はない

11. 有害性情報

急性毒性 : データ無し
 局所効果 : データ無し
 感作性 : データ無し
 慢性毒性・長期毒性 : データ無し
 がん原性 : データ無し
 変異原性 : データ無し

火薬類取締法	: 該当無し
高圧ガス保安法	: 該当無し
化学物質管理促進法 (PRTR 法)	: 該当無し
海洋汚染防止法	: 該当無し
その他	: 該当無し

16. その他

この記載内容は新しい知見に基づき改訂することがあります。

ここに記載された内容は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての製品には未知の有害性がありうるため、取扱いには細心の注意が必要です。

本品の適正に関する決定は使用者の責任において行って下さい。